

第13回 理科サロン

電子の動きで理解する有機反応



兵庫県立大学名誉教授

奥山 格 先生

高校の化学では、原子の電子構造を学び、価電子を点で表す電子式による原子の表現、共有結合の概念まで学ぶので、分子の電子式 (Lewis構造式) を書くこともできる。さらに電気陰性度の概念から極性結合、極性分子、分子間力まで学んでいる。これらの基礎があれば、電子の動きから有機反応を論理的に考えていくことができそうである。価電子の動きを矢印で表しながら反応を理解する可能性を提案してみたい。

*奥山先生の書かれた「有機化学ワークブックー巻矢印を使って反応機構がかける!」は、専門書としては珍しいベストセラーの1冊となっています。

日時：12月16日 (金)

午後6時～8時 講演会

午後6時半までは奥山先生
を囲んで夕食 (*)

場所：けやきの会事務所

豊中市千里園2-1-37

(電話 06-6857-2562)

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。
飲み物は用意しています。また、
時間ぎりぎりになられる方のために
軽食を用意しています。

